“Empowered Women, Peaceful Communities”
～エンパワーされた女性、平和なコミュニティ～

	2017-2018(第1フェーズ)	2018-2019(第2フェーズ)	2019-2020(第3フェーズ)	2020-2021(第4フェーズ)	2021-2022(第5フェーズ)
プロジェクト名	イスラム教徒が大多数を占めるアジアの国々における強靭なコミュニティ構築のためのエンパワーされた女性の影響を通じた急進化と暴力的過激主義の防止	エンパワーされた女性、平和なコミュニティ：アジアにおける暴力的過激主義の防止	エンパワーされた女性、平和なコミュニティ：アジアにおける暴力的過激主義の防止	オフラインとオンラインにおける平和の確保：南・東南アジアにおけるテロリズムとヘイトスピーチの防止に向けた女性の参加	新型コロナウイルスのパンデミック下における平和構築：コロナ渦の南・東南アジアにおける社会的結束の促進及びテロリズムと暴力的過激主義の防止のための女性のエンパワーメント
対象国	バングラデシュ・インドネシア	バングラデシュ・インドネシア・フィリピン	バングラデシュ	バングラデシュ・フィリピン	バングラデシュ・タイ
予算(USD)	約６８６万ドル	５２０万ドル	７０万ドル	約９4万ドル	約５７万ドル

２０１７年から２０２２年までの財政的支援総額：

約１４２７万ドル(USD)

「エンパワーされた女性、平和なコミュニティ」事業は、日本政府の支援によって実施されました。

From the People of Japan

“Empowered Women, Peaceful Communities”
～エンパワーされた女性、平和なコミュニティ～

２０１７年４月から２０２１年９月の事業実施期間中、バングラデシュ・インドネシア・タイ・フィリピンにおいてUN Womenが支援及び影響を与えた人々の総数は約 ４００万人

2017-2018(第1フェーズ)	2018-2019(第2フェーズ)	2019-2020(第3フェーズ)	2020-2021(第4フェーズ)	2021-2022(第5フェーズ)
１３万８１３０人	１０８万５７０２人	１９万５５３５人	２３２万４７１５人	２４万１１８０人
▪ **２１２１人**の女性たちが、本事業が展開する経済エンパワーメント活動の中のビジネス開発支援を通じて、自分たちが作成した製品の梱包技術及びビジネスプランを向上（インドネシア） ▪ **１２００人**の女性たちが、ビジネス開発・リーダーシップ・暴力的過激主義の防止の分野において自らの能力を強化（バングラデシュ）	▪ **２６３２人**の女性たちが、急進化及び暴力的過激主義の要因への対抗に貢献するため、経済エンパワーメント支援の活動に参加し、自ら持つ技術を最大限に利用しながら生計を立てていくための機会を増加（バングラデシュ・インドネシア・フィリピン） ▪ **１０７万８５０３人**の人々が、情報へのアクセスを通じて、暴力的過激主義が抱えるジェンダーのダイナミクスに関する理解を向上（バングラデシュ・インドネシア・フィリピン）	▪「Women Peace Café 女性平和カフェ WPC」～女性の社会起業家及び活動家のための大学に拠点を置くプラットフォーム～は、平和と社会的結束を促進するために**３０００人**の生徒、教師及びコミュニティメンバーの参加を実現（バングラデシュ） ▪ WPCのメンバーは、意識向上のための活動に積極的に参加し、**約１９万２０００人**の人々にソーシャルメディアや事業活動に関する会合を通じて影響を付与（バングラデシュ）	▪ WPCのメンバーは、暴力的過激主義の防止に必要な女性の役割に関する意識向上のための活動を展開し、**１２０万８２７６人**に影響を付与（バングラデシュ） ▪ **９７**人の若い女性及び**２**人のトランスジェンダー女性は、UN Women が開催したデジタルリテラシー・トレーニングに参加した事によって、新型コロナウイルスに関連するヘイトスピーチやフェイクニュースを見破り、それらから身を守り、オンライン上で通報する技術を習得（バングラデシュ・フィリピン）	▪ **２４万１１８０人**の人々は、WPCが主導するソーシャルメディア活動を通じて、平和の促進やヘイトスピーチ撲滅に関する知識を向上（バングラデシュ） ▪ タイ南部国境地域の周縁化された９つのコミュニティに住み、１か月にわたるロックダウンの対象となった脆弱な女性グループに、緊急に必要な**６０００個**の衛生キットを配布（タイ） （２０２１年９月時点*）

*第5フェーズは２０２２年３月３１日に終了し、本フェーズが達成した成果を含む最終報告書は２０２２年９月に完成予定。

政策支援：２０１７年から２０２２年の事業実施期間中に達成した主な成果

UN Womenの各国政府への継続した技術的支援は、ジェンダーに配慮した取り組みの強化に寄与する以下の地域及び国家行動計画の策定及び採択に貢献しました。

- **東南アジア諸国連合（ASEAN）**：「増加する急進化と暴力的過激主義の防止と対抗に関する行動計画」を２０１８年に採択
- **バングラデシュ**：「女性・平和・安全保障に関する国家行動計画２０１９－２０２２」を２０１９年に採択
- **フィリピン**：「暴力的過激主義の防止と対抗に関する国家行動計画」を２０１９年に策定
- **インドネシア**：「暴力的過激主義の防止に関する国家行動計画」を２０２１年に策定
- **タイ**：「女性・平和・安全保障に関する取り組みとガイドライン２０１７－２０２１」を実施

Photo: UN Women

バングラデシュ

UN Womenは、バングラデシュのブラック（BRAC）大学との協力により、女性の社会起業家及び活動家のためのプラットフォームである「Women Peace Café～女性平和カフェ～」を現地の複数の大学内に設立しました。学生主導の本プラットフォームは、社会的起業家精神を利用した平和の促進及びコミュニティの人々の生活の改善を達成するために若い女性たちと共に活動を展開しています。

Photo: UN Women

フィリピン

UN Womenは、フィリピン南部において現地のNGOであるモロプレナー（TMI）と協力して、バシラン州及びマギンダナオ州にある２０以上の急進化のリスクのあるコミュニティで活動を展開しました。多くの若い女性及び男性が社会起業のための技術を高め、食品、伝統的な織物、工芸関連の企業を設立しました。

インドネシア

UN Women は、平和で強靭なコミュニティを促進するために、インドネシアのNGOワヒッド財団と女性主導の「平和村イニシアチブ」を立ち上げました。平和村を作り上げるため、コミュニティメンバーは、家庭の中で平和を作ることから始めて、コミュニティの中で寛容と平和を保護及び育成することにコミットしています。

事業参加者の声

「UN Womenが主催するトレーニングに参加する前は、女性は家に居るべきで彼女たちの役割は子どもを育てる事だけだと私は思っていました。しかし、女性たちはそれ以上の事を成し遂げられるという事を私は学びました。女性はコミュニティ及び国にとって重要な存在です。私たちは勇敢な女性になる事も平和を作ることもできるのです。私は争いに対処し解決する方法を知っています。」

「女性平和カフェの活動に参加するまで私は自分自身がリーダーになれるなんて思ってもいませんでした。しかし今の私は、成功した起業家であり、社会に変革を起こすチェンジメーカーです。」

「フェイクニュースや人種差別、そして特定の集団に対するヘイトスピーチがコミュニティに浸透する事によって、コミュニティの平和と結束心を壊してしまうことをUN Womenが主催するトレーニングで私は学びました。」

「これまでは、暴力的過激主義について詳しく知っている人はいなく、その予防のために自分たちのコミュニティにおいて自ら行動を起こそうと考えた人もいませんでした。しかし今、女性たちはこの問題について積極的に発言し、急進化の防止のためには何ができるかを他の人々に伝えています。」

「エンパワーされた女性、平和なコミュニティ」事業は、日本政府の支援によって実施されました。

From the People of Japan